

(2)その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付け(ISI citation など)など。* ISI データのない場合は、可能であればいろいろな指標を使って国内的位置づけを示す。

分野	取組と成果、世界的位置づけ	18年度の状況
<p>特筆すべき 教育活動</p>	<p>1. 研究プロジェクト企画立案機能強化と人材育成目標の明確化 センター企画部の業務をプロジェクト企画立案機能強化に絞ったことで、事務職員を含むコーディネータ育成目標を研究プロジェクト企画立案・推進能力の向上へと明確化することが出来た。産学連携推進において、国際的に特長ある大学研究センター構築を目指したセンター運営を進めている。</p> <p>2. 緻密かつ高度な専門知識を伴う研究プロジェクト企画立案に係る要員と活動費の確保 企画立案レベルの高度化を図るために、自ら獲得した外部資金の間接経費の一部を積極的に活用し、自立した企画活動体制の確立と企画立案能力に優れた人材の育成を進めている。</p> <p>3. 戦略的なアジア産学連携支援人材の育成 様々な形で我が国との連携を期待するアジア各国の指導者層に対する育成支援を戦略的に進め、産学連携の実務においても東北大学がアジア諸国のリーダーシップをとる体制構築の布石を着実に進めている。</p>	<p>センターから全学的支援機能である産学連携推進本部へ幾つかの機能移管を進め、開発企画部の研究プロジェクト企画立案機能を抜本的に強化した。</p> <p>科学技術政策に精通した人材のセンター受入れを実現すると共に文科省・NEDO等のハイレベルのコーディネータ派遣制度を利用し人材を確保。活動費捻出のために、経済省・総務省等の管理法人業務を全国の大学に先駆けて受託。</p> <p>台湾国立交通大学との学術交流協定を担当し相互に訪問など、アジア各国からの多数の留学生の受入れ・教員レベル(客員2名)との積極的な交流・指導を行っている。シンガポールで開催されたアジア太平洋産学技術移転セミナーでは、海外技術者研修協会主催のASEAN5カ国に対する産学技術移転指導を行った。</p>
<p>特筆すべき 研究活動</p>	<p>1. 明瞭で定量的なプロジェクト採択基準の設定 専任教員及び寄附部門教員に加え、兼務教員によるセンタープロジェクト設置を可能とする採択基準に従い、部局横断型の研究シーズを基に外部資金を積極的に獲得し、拠点型の国家プロジェクトなどの産学連携大型プロジェクトをセンターにおいてタイムリーに企画・設立を進めている。</p> <p>2. プロジェクト企画会議の創設など、企画立案機能の強化による新規研究プロジェクトの創設 プロジェクト企画立案機能の強化により、レアメタル、ロボティクス、タンパク、安全安心等の各省庁が重点政策として推進する新規の大型研究拠点づくりを進めている。重点政策との連動により、安定的な研究資金の獲得、政策実現を通じた社会貢献、大学イメージの格段の向上など当該研究分野における我国の拠点としての地位を獲得する。センターにおける実績とノウハウの蓄積を本学が優れた能力を持つ分野に適用し、他校に先んじて拠点機能を持つことにより、学内研究活動の活発化と研究成果の創出加速が期待される。平成19年8月時点で、経済産業省のレアメタル研究予算の6割を</p>	<p>広く学内研究者を対象に、センタープロジェクト設置を可能とするための外部資金規模及び研究目標水準など明瞭で定量的なプロジェクト採択基準を設定した。</p> <p>18年4月時点でプロジェクト設置数13が19年3月末時点で中期目標値である年度内設置数20に増強し、同時にプロジェクトの大型化も進行中。センターの外部資金獲得額は18年度実績21億円に到達。18年度の主なプロジェクト企画活動としては、レアメタルの研究調査委員会</p>

	<p>占める大型研究プロジェクトの採択、及び文部科学省の安全安心科学技術プロジェクトにおける大学として唯一の大型プロジェクト案件として採択された。</p> <p>3. 拠点型研究開発プロジェクトの推進 未来情報産業創製寄附研究部門は、平成 14 年 1 月に 1,300 m²のスーパークリーンルームを含む 6,400 m²の研究館を全額民間寄付で設立し、毎年約 40 名の企業研究員、平成 19 年 3 月末までに民間資金約 72 億円・公的資金約 40 億円を受け入れ、半導体製造技術の研究を展開している。 平成 19 年 4 月からは民間企業 30 社以上の参加と 45 億円超の民間資金計画により、5 年計画の第 期(DIIN)プロジェクトを開始している。</p> <p>4. 戦略的な広報・情報収集活動 新たな研究資金の獲得と研究成果の活用を目的とした広報・情報収集活動を実施することにより、大学におけるプロジェクト企画活動に資する産業動向・研究開発動向・公募情報の蓄積と更新を可能とする。</p> <p>5. 研究プロジェクト活動の活発化に伴う、研究スペースの不足とスペース捻出の工夫 外部資金獲得能力は研究スペース規模に大きく依存する。研究プロジェクト数の増加が示す産業界が望む活発な研究活動の実施により、研究スペースの不足が生じており、既存研究室の配置換え等により研究スペースの最大限の有効活用を図る。そのほか、第 2 研究棟の新設と中間的対応策として中小機構インキュベータ(T-Biz)の獲得を図り、研究プロジェクトの活動スペースを確保する。社会連携を強化し地域貢献にも結びつく中小企業等の育成にも尽力する。 平成 19 年 8 月時点で、T-Biz の一部(375 m²)の借上げにより、現行の 15%増となる新規スペースを確保。また、T-Biz 入居者の 8 割を東北大学関係企業で確保し、共同研究を推進する。</p> <p>6. 情報ネットワークを含めた全館のセキュリティシステムの整備 セキュリティ面における産業界の信頼を得ている。</p> <p>7. 客観的な研究プロジェクト評価システムの確立 客観的なプロジェクト評価システムを構築・運用している。</p>	<p>の実施、及び安全安心に関する学内外研究者ネットワークを進め、国プロ申請に備えた。</p> <p>平成 18 年度は、これまでの活動を基に企業 30 社以上の参加を求め、平成 19 年 4 月から 5 年計画(民間資金 45 億円超)でこれまでの研究成果の完全事業化と大型ディスプレイ・太陽電池製造への水平展開を目指す第 期プロジェクトを発足させた。</p> <p>特定企業向けに分野を絞り込んだ研究会やセミナーの実施、有力企業 CTO 等を招いてのキャンパスツアー(産学連携プロジェクト候補となる教員と研究室の訪問)などを新規に実施。</p> <p>センター本館及びハッチェリースクエアの配置換えなど既存スペースの有効利用を実施。さらに中小機構の大学連携型起業家育成施設(T-Biz, 2,500 m²、7 億 4 千万円)を獲得し、センター駐車場に 18 年 12 月に着工した。</p> <p>研究プロジェクトのための研究実験室の整備充実に努めた。</p> <p>技術分野毎の専門家による書面審査と国内有数の有識者による対面審査の二段階方式による外部評価システムを確立。</p>
--	--	---

<p>特筆すべき社会貢献活動</p>	<p>1. 産業界からの的確な意見聴取システムの確立 大型産学連携プロジェクトを他大学に先駆けて設置・運営していくためのセンター運営戦略について、産業界からの的確な意見を取り込むシステムを構築した。</p> <p>2. 各省庁事業の管理法人業務実施による積極的な大学の地域貢献システムの開発 経済産業省及び NEDO 事業の管理法人業務を全国の大学に先駆けて受託し、大学研究シーズを新産業へ展開する積極的な大学の地域貢献システムを開発している。また、総務省(NICT)から連携大学として全国4大学の一つとして選ばれ、東北・関東・甲信越に跨る地域担当としてベンチャー・中小企業等の育成活動を開始した。</p> <p>3. 電機業界等の複合技術による製品化がなされる産業における戦略的な大学研究成果の産業化 大学研究成果を明確に表現しながら、製品化を着実に進めている。</p> <p>4. 共同研究成果に基づく地域への企業誘致 未来情報産業創製寄附研究部門における共同研究の中心企業である東京エレクトロン社は、東北大学の研究成果に基づく世界最強の製造装置産業に発展し、世界の半導体産業等の最先端産業分野の飛躍に貢献することが期待されている。同社は、東北大学との産学連携を一層強固なものにするため、仙台近郊における研究開発拠点の発足と拠点工場の稼働を決定した。</p>	<p>各業界のリーダーシップ企業トップを主体とするセンター運営協議会を設置。</p> <p>経済産業省地域新生コンソーシアム事業及びNEDOのTLOマッチングの管理法人業務を受託、総務省(NICT)の情報通信系研究公募事業(予算総額16億円)の一部を受託。</p> <p>フラットパネルディスプレイ技術における素材・光学・精密加工からセットメーカーに至る企業連合、プラズマ技術における20社を超える垂直統合型企業連合などを大学が中心となり構築。</p> <p>東京エレクトロン社は、東北大学との産学連携を一層強固なものにするため、仙台市泉区に敷地面積22,000㎡の研究開発拠点(建屋1万㎡)を平成19年6月1日に発足すること、宮城県大和町に敷地面積30万㎡の拠点工場を平成22年に稼働させることを平成18年度中に決定した。</p>
---------------------------	---	--